

複式簿記の基本的発想

これを理解していなくても、
会計ソフトの指示通りに
入力していれば大丈夫。

もちろん、そういう場合も
あります。

但し決算書や試算表、会計帳簿は
複式簿記というルールで
作られています。

この複式簿記の基本的発想を
理解しないまましていると、
「何がどう間違っているのか」
「この訂正はなぜ必要なのか」
という根本が理解できません。

ぜひこれだけは覚えて欲しい。
そういう基本中の基本です。

【これだけではダメ！】

| | |
|---------|---------|
| (本日の売上) | |
| 1. | 11,000円 |
| 2. | 5,000円 |
| 3. | 23,100円 |
| 4. | 11,500円 |
| <hr/> | |
| 計 | 50,600円 |

どうしてダメ？
毎日きちんと
記録してるのに。

だって1つの
項目しか書いて
いないでしょう。



【あるべき姿】

| | | |
|------------|--------------------|----------------------|
| (本日の売上) | (現金) | (後日、銀行振込) |
| 1. 11,000円 | _____ | 11,000円 |
| 2. 5,000円 | _____ 5,000円 | |
| 3. 23,100円 | _____ | 23,100円 |
| 4. 11,500円 | _____ 11,500円 | |
| <hr/> | | |
| 計 50,600円 | (現金の増加) 16,500円 | (未回収売上代金) 34,100円 |

ただ単に「売上 11,000円」と記録するのではなく、

- ・売上 11,000円
- ・現金の増加 11,000円

のように、その裏付けとなる資産についても同時にセットで
記録する。それが「複式簿記」の基本的発想です。



【会計ソフトではこうなっている！ (free の場合)】

取引 申請 レポート 確定申告 口座 給与 設定 顧客管理

支出) 口座振替

12年5月末リリース予定】電子保存に必要な操作の簡略化を予定しています。詳しくは、[説明スライド](#)から内容を

取引テンプレ

収支

収入 支出

決済 未決済 完了

発生日 必須 取引先

勘定科目 必須 金額 必須

売上高 0円

品目・部門・メモタグ

収入を登録 詳細登録

口座 現金

現金

みなと

三菱東京UFJ

トマト

形神信金

ゆうちょ (API)

ゆうちょ (API) 1

楽天カード

セゾンカード

三井住友VISAカード1

現金

小口現金その1

小口現金その2

Amazon

PayPal

燃費金(Square)

「売上高」などの収益や費用の項目とセットで
必ずその「裏付けは？性質は？」という項目を
選ぶようになっていきます。

